

暮らしの中に潜む危険

私たちの生活に身近にある家電製品。
その電源コードも使い方を誤ると、思わぬ事故につながります。
あなたは、正しく使用していますか？



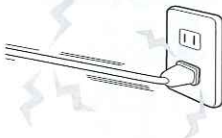
電源コードから発火!?【電源コード誤使用による危険】

- ・電源コードは家電製品に電力を供給する大切な部品です。食品を冷やしたり、調理したりするためには、たくさんのエネルギーが必要で、電源コードにはそのためのエネルギーが流れています。
- ・電源コードを束ねたまま使用していると、熱が放熱しにくく過熱し電源コードから発火することがあります。
- ・使用していないときでも、電源コードをぐるぐる巻いたり、折り曲げたりすると傷がつくことがあります。その他間違った方法で使用すると、発火・発煙の恐れがあることを十分に認識してください。

《電源コード使用上の注意》

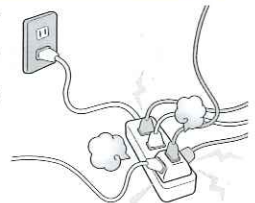
①電源コードを引っ張らない

コードの芯線が切れたり、プラグの接続部が切れたりはずれたりして、通電しなくなったり、ショートなどを起こします。必ずプラグをもって抜くようにしましょう。



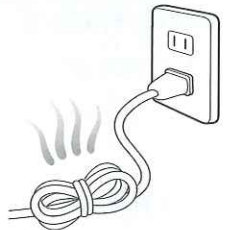
②たこ足配線をしない

テーブルタップは許容量をオーバーすると過熱の原因になりますので、決められた電気の量を守りましょう。



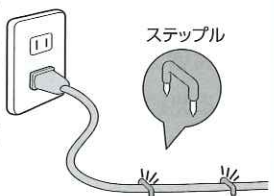
③束ねたまま電源コードを使用しない

巻いたまま使っているとコードの熱が放熱しにくく過熱して危険ですので、伸ばして使ってください。



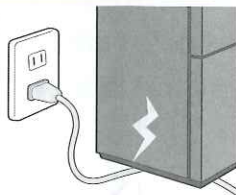
④電源コードを締め付けない

コードを金具で固定したり、ドアで挟んだりすると、コードの中の細かい芯線が切れ、焼損の原因になります。またコードをステップルで固定することも危険なのでやめましょう。



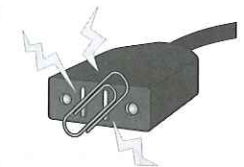
⑤電源コードの上に重いものを載せない

カーペットや家具などの下に敷くと、電源コードの被覆が潰れたり傷がついたり熱がこもり、ショートして火災になる恐れがあります。



⑥マグネットプラグは注意して接続する

マグネットプラグの電極部は磁石になっています。このためクリップなどの金属片がついてしまう恐れがあります。それに気づかず接続させると、ショートして火花や発煙などの危険もあります。



〈参考〉一般社団法人 日本電機工業会「家電製品の正しい使い方」

一般社団法人 日本ヒーブ協議会



当協議会は、企業等の消費者関連部門などに働く女性が、生活者と企業のパイプ役としてよりよい仕事をするため、その能力向上を目的に1978年に設立されました。現在、食品・化学・電機・流通・金融・マスコミ等、企業の消費者対応・消費者教育・広報・商品開発・営業・品質管理・CSR部門などの多様な業務に携わる女性たちが集い、異業種交流の特徴を生かしながら、情報や意見の交換を行っています。

東京のほか、関西・九州に支部を持ち、2012年4月現在、賛助企業26社、会員が所属する企業89社、正会員110名が月例会や分科会を通じて、企業と生活者の信頼ある関係構築へ向けて活動しています。

日本ヒーブ協議会 HP <http://www.heib.gr.jp/>